

信州上田 まち中歩き

けんこう 安心健幸マップ

～真田十勇士がご案内します～

けんこう 歩いて健幸・十勇士

時間はあくまでも目安です
ご自分のペースで歩いてください

十勇士名	距離 (m)	所要時間 (分)	ウォーキング消費カロリー
① 猿飛佐助	285	5	30.7
② 三好清海入道	236	4	24.5
③ 由利鎌之助	203	3	18.4
④ 海野六郎	98	2	12.3
⑤ 三好伊三入道	370	6	36.8
⑥ 穴山小助			

十勇士名	距離 (m)	所要時間 (分)	ウォーキング消費カロリー
⑦ 寛十蔵	285	5	30.7
⑧ 根津甚八	578	9	55.2
⑨ 望月六郎	69	1	6.1
⑩ 霧隠才蔵	413	7	42.9
⑪ 猿飛佐助	233	4	24.5
⑫～⑯ 合計	2,770	46	282.1

十勇士モニュメントマップ

持ち物: 歩きやすい服装・飲み物



横町と本町

横町にある日輪寺の山門からまっすぐのところに観音堂「普門閣」があり、ここには真田家の御先祖、海野家の守り本尊「観音菩薩」が安置されています。毎年、八月九日には「りんご祭り」としてにぎわいます。(歴根の家紋に注目です)
本町にある「上田映劇」のある場所は、昔から上田の娯楽の拠点でした。明治時代には「末広座」という芝居小屋があり、そこに大正6年に建てられたのが上田映劇の前身「上田劇場」です。当時1階には種敷と花道があり、回り舞台仕様で歌舞伎座と同じようにつくりをしていました。天井は格天井と呼ばれ、関東大震災で焼けてしまう前の帝国劇場と同じ形の天井です。その天井は、今も残っています。(上田劇場HPより)



松尾町(まつおちょう)

明治21年(1888)に上田駅が開通し、海野町からの直通道路がつけられました。それが当初「真田坂」といわれた松尾町です。産業が栄えるにつれ、次第に町並みが形成されていきました。ゆるやかな坂道に、明治時代から続く老舗や専門店が並んでいます。



海野町(うんのまち)

真田氏とゆかりの深い海野氏の本拠地である海野郷(現東御市海野)から住人を移してつくられました。原町と同じく、城下町の発展とともに北国街道が通り、宿場町として栄えました。岡町は上田城下の中心街となり、また上田藩領内の経済の中心となりました。



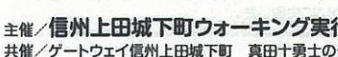
原町(はらまち)

上田築城とともに始まった城下町の形成。その中心としてつくられたのが原町と海野町です。原町は真田氏の屋敷があった原之郷(現真田町本原)の人々を移住させてつくった町で、後に北国街道も通りました。当時は堀場町として大変賑わったといわれています。



天神町(てんじんちょう)

上田駅周辺の天神町。かつては養蚕など産業の発展に伴い、また近年では長野新幹線の開通により大きな変貌を遂げ、賑やかな商業エリアとなりました。



真田十勇士スタンプラリー開催中
スタンプを集めて景品をゲットしよう!
※詳細は裏面に記載

真田十勇士モニュメント

① 猿飛佐助	⑥ 穴山小助
② 三好清海入道	⑦ 寛十蔵
③ 由利鎌之助	⑧ 根津甚八
④ 海野六郎	⑨ 望月六郎
⑤ 三好伊三入道	⑩ 霧隠才蔵